



# Weekly Report



インスピレーションになる

クラブ・テーマ **Participate Actively, Engage Rotary, Change Lives**  
「積極的に参加し、ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」

会長 原田晃博  
幹事 津多一幸

例会場：割烹「ふな又」 例会日：第2・3・4木曜日  
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681  
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

原田晃博年度 第10回 通算2670例会

平成30年10月11日

## 会長挨拶

第56代会長 原田晃博

皆様こんにちは！本日のお客様は国際ロータリー第2770地区米山記念奨学学友選考委員会より藤嶋剛史様（大宮西）様、そして卓話者である米山奨学生の劉宗牧君です。宜しくお祝い致します。



さて、皆様ご存知のように、米山奨学事業は米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との架け橋となり国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。年間の採用数は780人（枠）、事業費は約13億円で国内では民間最大の国際奨学事業です。支援してきた奨学生は累計で約2万人、世界125の国と地域に及びます。

当時のロータリアンの思いとして「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうには、一人でも多くの留学生を迎い入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く事。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないか」というものでした。現代の世界情勢と日本の立ち位置を考えると、その使命は重要性を増しているのではないのでしょうか。このような歴史的基盤を持つ米山記念奨学生の卓話を楽しみにしております。劉君、宜しくお祝い致します。

## 委員会報告

親睦委員会 委員長 鈴木 隆

10月21日～22日は会員親睦旅行です。焼津で新鮮な魚と美味しいお酒を飲みながら親睦を深めましょう。



Happy birthday

10月16日 田口雅弘 会員  
10月21日 志水一雄 会員  
10月24日 小林 篤 会員



お誕生日おめでとうございます

## 幹事報告

幹事 津多一幸

- 1 岩槻商業高等学校岩商祭（文化祭）のご案内。  
日時 10月27日（土）9時30分～15時  
（入場14時まで）  
場所 埼玉県立岩槻商業高等学校
- 2 国際ロータリー第2770地区より、ロータリー財団グローバル補助金セミナーのご案内です。  
日時 10月26日（金）登録受付 18時00分  
場所 浦和コミュニティセンター パルコ9階第15集会室
- 3 国際ロータリー第2770地区より、高校生海外研修派遣団員の募集についてのご案内です。  
日程 2019年3月23日（土）～3月28日（木）5泊6日
- 4 国際ロータリー第2770地区より、第2770地区女子会開催のご案内です。  
日時 12月5日（水）受付16時30分  
場所 ティティクッチーナ※貸切  
さいたま市大宮区宮町2-6 ☎：048-643-0701
- 5 国際ロータリー第2770地区より、ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）パートIIのご案内です。  
日時 11月30日（金）開会9時30分  
場所 大宮ソニックシティ
- 6 ロータリー財団より、メジャードナー顕彰午餐会のご案内。  
日時 11月19日（月）受付 9時00分開始  
場所 神戸ポートピアホテル
- 7 第4グループガバナー補佐より会長幹事会議事録。
- 8 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、50周年記念誌、50周年記念グッズ申し込みのご案内と、2017年度事業報告・決算報告が届いております。
- 9 大宮西RC、大宮東RC、岩槻東RC、大宮北東RCより、10月例会予定表が届いております。
- 11 公益社団法人さいたま観光国際協会よりIEC News。
- 12 蓮田RCより8月29日例会来訪の御礼と、週報。
- 13 大宮北東RCより、週報が届いております。



## 米山卓話

地区米山記念奨学学友選考委員会  
藤嶋 剛史 様（大宮西）

米山事業について話を、との事でしたので少しご説明します。  
この事業は日本のロータリーの父・米山梅吉氏から名付けられたものですが、米山氏はちょうど150年前、明治元年の1868年2月に生まれ～（長いので略）～1946年



◆次回の例会◆ 平成30年10月20～21日 会員親睦旅行

焼津温泉 焼津グランドホテル

に亡くなりました。その後東京 RC が RI に復帰し 1950 年代になると、当時国際ロータリー財団の奨学事業が高い効果を上げていたこと、生前米山氏が海外からの留学生を支援していたことなどから、米山氏の功績を讃えて事業ができないかどうか、との意見が持ち上がり、戦後のアジア民族融合のため「平和日本」を世界にアピールする事業として、日本独自の国際奉仕プログラムである米山記念奨学事業が生まれました。この奨学事業は民間最大のものであるとともに、他にはない「世話クラブ・カウンセラー制度」という大きな特徴を持っています。海外からの奨学生に将来、単なる日本との「懸け橋」のみではなく、「ロータリーの良き理解者である、日本との懸け橋」として、国際親善、平和を推進する人材に「育て」もらうため、ロータリーの精神を学んでもらうのです。そのためには奨学生に、日本を、ロータリーをもっと好きになってもらうことが大事ではないかな、と個人的に思っています。米山記念奨学会ではカウンセラーの皆さんに「自分の子どもや孫が海外に留学したら、現地の大人にどんな風に接してもらえたら嬉しいだろう」と考えながら奨学生と接して欲しい、と言っています。これは、米山氏が生前よく口にした「何事も人々からしてほしいと望むものは、人々にもそのようにせよ」という言葉と同じであり、ロータリーの思いやりの精神そのものではないでしょうか。ロータリアン皆がそういった気持ちで奨学生に接していただけたら、米山事業のさらなる成功につながるかと思えます。そして皆さんに米山に対して今以上にご理解を深めていただき、それが貴重な「ご寄付」につながれば幸いです。

**米山奨学生 劉 宋牧 様**  
(埼玉大学博士課程 2年/中国)



私は 2009 年の 4 月に来日してもうすぐ 10 年経ちます。この 10 年間に、何回も一時帰国しましたが、帰る度に中国の変化を感じられます。地元の合肥市（ごうひし）も、周囲の市町村を合併して、総面積 7266km<sup>2</sup>、人口は約 800 万人になりました。

ちなみに、東京都は 2194km、人口は約 1.4 千万人。埼玉県は 3798km、人口は約 731 万人。合肥市の都市部 458km、人口 532 万人。東京 23 区、627km、人口 951 万人。

実家に戻る度に、新しい道路も次々と作られて、行ったこともなく聞いたこともない道路はどんどん増えます。2 年前から、地下鉄も出来ました。「いよいよ大都会になったなあ」と思いました。この 10 年で、自分の生まれ育ちの町も、熟知しているとは言えなくなりました。「中国を紹介してください」と頼まれた時、「今の中国は、私もよく分かりません」と答えるようにした。確かに、私のよく知っている中国は、ほぼ 10 年程前の中国でした。

中国に帰った時は、よく日本に興味がある年配の親戚に、「日本のことを紹介して」と言われます。よく考えたら、それは私の場合、特に難しいことです。休みがあれば、実家に戻るし、友達が誘わなければ、自ら遠くは行かないし、1 人でまずは日帰りのプラン以外は立てない。そのため、京都や大阪は行ったことがない。富士山も日本に来て 10 年目の今年にやっと登りました。スカイツリーも登ったこともありません。恐らく、みんなと想像していた充実な留学生活に程遠いかも知れません。人生の 3 分の 1 は日本に生活していて、些細なことから中国との違いを話します。

**日本と中国の違い**

日本の電圧は 110v、中国の場合は 220v。日本の郵便ボックスは赤、中国は全部緑。日本では左側通行ですが、中国は右側通行となります。ファストフード店では「ケンタッキー」は「マクドナルド」の数より遥かに上回る。ノックの数は日本の 2 回より 1 回多く、3 回。親指を出したら、日本では

「彼氏」ですが、中国は「グッド」。中国では、電車よりバスの利用が多い。日本人はお風呂が大好きですが、中国はシャワーだけで済ませることが多い。「漢字」は日本語と中国語がかなり通じるものが多いですが、誤解を招く場合もある。例えば、「愛人」は中国語で妻或いは夫のことに言います。「手紙」は、中国語で「トイレペーパー」の意味をします。

飲み会では、「乾杯」の数が、圧倒的に中国の方が多いです。一杯目は「祝辞」、その後は飲む度に乾杯します。勝手に向こうが乾杯されると、飲まない失礼になります。日本のビザと比べ、中国人は海外に行く際にビザを獲得する必要が多い。インターネットの規制で、LINE、gmail、facebook、youtube は使えない。地下鉄では荷物のチェックがあつて時間かかる。電子マネーは、遥かに日本より普及しています。料金の支払いはもちろん、年玉や生活費もスマホのアプリでお金を送ることできる時代になりました。

結婚年齢は、男性 22 歳から、女性は 20 歳から。中国では、一旦出家すると、結婚はできません。子供を作ることでもできなくなり、すでに子供を持つ方は、子供と親族との縁を切らなければなりません。

「時間は多少遅刻オッケー」の中国は時間に対する厳しさは日本ほどではありません。同じように、ミスの対応への考え方も違う、挽回できればミスの責任を問わないから、謝るより「ミスを挽回すること」に必死です。

日本の文化は、色んな文化を吸収する性質があります。生まれは神社で祈り、結婚式は教会で挙式、墓はお寺で、元が違ふ文化を共存することができます。その柔軟性はいいものと思えます。

異文化間のコミュニケーションは、お互いの文化、その文化になる理由を少し理解した時点で、賛同するかしないかに関係なく、コミュニケーションを取れると考えられます。目で見える部分と見えない部分が存在します。その見えない部分を理解した上で、いいコミュニケーションに繋がると考えられます。



**スマイルBOXより**

**メンバー (50 音順)**

- 小田光司 菊地 廣 木村郁夫 小林利郎  
鈴木 隆 関根信行 田口雅弘 津多一幸  
出山知宏 原田晃博 三浦宣之

❀ご芳志ありがとうございました❀

スマイル報告	
本日のスマイル合計	16,000 円
年間累計額	244,000 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	11		6	68.00%